

指定管理者制度導入施設の管理状況評価結果（平成26年度分）

「指定管理者導入施設管理状況評価実施要領」に基づき、指定管理者制度を導入している全施設（49施設）の管理状況評価を実施しました。

そのうち、4施設については、「栃木市指定管理者選定委員会」を開催し、選定委員による現地調査並びにヒアリングを実施し、評価しました。

その結果は、以下のとおりです。

1 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み

各施設とも、アンケートを積極的に実施し、利用者ニーズに適正に 대응しており、事業計画に反映している点は評価できる。さらに、アンケート回数を増やし、施設の質の向上の糸口を探ることも必要である。

利用者の利便性を重視しサービス提供が行われており、運営の基本方針により、平等・公平に利用者に提供されている。

工夫の余地が少ない中で利用者の意見等の反映に努めているが、今後、ヒアリング等を通じたさらなる評価向上を求む。

2 施設の効用を最大限に発揮する取組み

各施設とも、施設の特長を有効に利用しており、効率的に利用する工夫を行っている。

適切な努力を行っていると認めるが、長期的な入館者数の減少に対して、有効な対策がなされていないため、リピーター増に向け施設に付加価値をつける必要がある。

実際に利用した利用者の様子からも、利用の効用が感じられる。今後、各種の交流会、合同事業を通じて情報発信を図られたい。

他施設との連携が強化されるとさらに良い。

3 施設経費の削減の取組み

各施設とも、経費の使用について適正である。引き続き、職員一丸で、経費の削減の目標に取り組んでいただきたい。また、エコ意識を徹底し、利用者増を追及することで相対的なコスト比率の低減を図ることや、夏季のグリーンカーテン以外に冬場の燃料費削減も工夫されたい。山車の修繕等の費用がかかっているが、今後の人手不足を考えると職人育成も必要である。

経費削減は未達の施設もあったが、別部門の利益の補てんなど努力がみられる。このことは、中期的な先行投資による経費増と理解したい。

4 施設の管理を安定して行う能力

各施設とも、適切な人員配置がされ、職員の各種研修参加によるスキル向上にも取り組んでいる。財務状況も問題がない。

十分な運営ノウハウを持つ管理者であり、団体の管理能力や職員の雇用状況も安定しており、施設管理も適正に行っている。

障がい者総合支援法の動向などに注視しながら施設管理・送迎を行っている。

5 施設の安全対策、危機管理体制の取組み

各施設とも、安全対策、危機管理について問題となる点はなく、適正に行われている。しかしながら、地震災害時の具体的マニュアルを準備することなど、災害時における特別の安全対策を検討しておく必要がある。

マニュアルを見直し、変更点・改善点を明示できると良い。

施設の特性上、利用者の怪我、利用者間のトラブルがないよう引き続き気をつけて管理されるよう望む。

○ 栃木市指定管理者選定委員会評価施設

施設名	施設所管課
栃木市斎場	生活環境部環境課
栃木市大平児童館	保健福祉部こども課
とちぎ山車会館	産業振興部商工観光課
栃木市都賀地域活動支援センター	都賀総合支所健康福祉課

○ 総合評価について

総合評価については、下記の基準により記載されております。

総合評価	合計得点
A（優）	80点以上
B（良）	70点以上80点未満
C（可）	60点以上70点未満
D（要改善）	60点未満

○ 施設ごとの管理状況結果は別紙のとおり